

こころのはな



すてきな親子の手紙をありがとうございました！

一学期に取り組んでいただいた親子の手紙を紹介します。日頃、口にできない家族のそれぞれの思いを「短い手紙」にすることで、お互いの気持ちを理解し合うよい機会になったと思います。お忙しい中、心の通う手紙を書いていただき、ありがとうございました。

学年	子どもから大人へ	大人から子どもへ
1年	<p>ママへ (山下 愛珠さん)</p> <p>いつもおいしいりょうりをつくってくれてありがとうございます。ママがつくるからあげは、かりかりでとってもジューシー！</p> <p>10こぐらいたべたいな。いつも大すきっていってくれてありがとうございます。あずもママがだいすきだよ。</p>	<p>いつもこころあたたまるおてがみをありがとうございます。からあげ10こたべたいんだね。よしつ、がんばってたくさんつくるぞ。たのしみにまつっていてね。ママこそ「だいすき！」とだきついてもらえてさいこうにしあわせだよ。</p>
2年	<p>お父さんへ (竹本 善音さん)</p> <p>あーめんどうくさい。学どうのゲームはすごくたのしいし、ユーチューブみるのもたのしいな。</p> <p>でも、はみがきとかしゆくだいは、めんどうくさいな。めんどうくさいことなくなって、たのしいことばっかりになればいいのにな。</p>	<p>たのしいことばっかりだと高いだよね。でも、めんどうくさいことをするからたのしいことがすごくたのしいと思えるんじゃないかな。</p> <p>これからもたのしいと思えるようにめんどうくさいこともやっていこうね。</p>
3年	<p>お母さんへ (森 夢花さん)</p> <p>お母さん、生んでくれてありがとうございます。生んでもらったおかげでいろいろな友だちと大好きな家族に会えたし、楽しい思い出がいっぱいできたよ。だから、夢花は生まれることができて、うれしいよ。</p>	<p>夢ちゃん、お手紙ありがとうございます。今までもらったお手紙の中で、一番嬉しかったよ。ママも夢ちゃんが生まれててくれたおかげで楽しいこと、幸せなことが沢山あったよ。こちらこそ夢ちゃんのママにしてくれて本当にありがとうございます。</p>
4年	<p>お母さんへ (南 瑠音さん)</p> <p>いつも、夜遅くまで仕事をしてくれてありがとうございます。いつも遅くに帰ってくるから、つかれていると思うよ。だから、仕事はお母さんのペースにあわせてがんばってね。</p>	<p>最近、コロナの影響で仕事が忙しくて、帰るのが遅くなつてごめんね。帰ると、玄関まで出てきて「おかえり。」って言ってくれてありがとうございます。</p> <p>つかれもふつとぶ一時です。</p>
5年	<p>お母さんへ (宇野 繼さん)</p> <p>おかあさん、ぼくは、いろいろある料理の中でも、焼き鳥(たれ)が好きです。だがしかし、焼き鳥はごくまれにしか出てこないのですが、なぜでしょう。いつも料理を作っていたいしているのだが、焼き鳥も出してほしいです。</p>	<p>お母さんも焼き鳥が大好きです。毎日食べたいくらいです。だがしかし、健康のためには様々な食材を食べることが大切なので、泣く泣くいろんな料理を作っているのです。今日の夕飯が決まりました。焼き鳥です。</p>
6年	<p>お母さんへ (瀬戸 夢斗さん)</p> <p>ぼくは、打てないことが一年も続いて、とってもくやしかったし、くるしかった。でも、お母さんがいつも応えんしてくれたし、おいしいおにぎりをつくってくれた。お母さん、ありがとうございます。これからもぼくは、がんばるから。</p>	<p>いつも野球がんばっているね。ずっと打てなくてつらかったね。やっとヒット打てたね。当たるようになったね。努力はむくわれるということをママは夢斗から教わりました。</p> <p>あきらめずにがんばっている夢斗は、すごいです。</p>

